

# ゴッぽがみん

## 広報



シンボルマーク

### 地震を想定し防災訓練



毎月とじこんでください。きつとお役に立ちます。

消火器の取扱い訓練をする参加者

鎌谷町自主防災会（寺田清会長）では十月十八日、コミュニティ防災センターを主会場に防災訓練を行いました。

訓練には、鎌谷町、一ツ谷、鳥森、弥生町の住民をはじめ、かまや保育園児など約百五十人が参加しました。

津軽地方に震度五の地震が発生した…との想定で訓練が始まり、避難、通報、搬送、炊き出し、消火器取扱訓練が実施されました。

訓練終了後、全員が防災センターに集合し、消防長の講評と防災啓発用のビデオの上映が行われ、参加した人達は、災害による被害を最小限に食い止めるためには、日頃の心がまえが大切であることを実感していました。



平成3年

11.1

No.746

#### 人口と世帯

	人口	世帯	前月比
男	23,698		(-14)
女	26,408		(-21)
計	50,106		(-35)
世帯数	16,418		(+6)

(9月30日現在 住民基本台帳)

# 興そう一

このコーナーは、市誘致企業として立地した企業を広く市民の皆様方に知って戴くためのコーナーです。就職の際は是非参考にして戴ければと思います。なお、ご家族又は知人の方で首都圏で働いている五所川原市出身者でUターン就職希望される方は、市総務部工業振興対策室(☎35-2111 内290)へご相談下さい。



## 誘致企業第一号

### 北越ヒューム管(株)五所川原工場

(立地・昭和四十三年十月)

当社は、昭和九年新潟県上越市にてコンクリート二次製品の生産、販売を開始して半世紀が過ぎました。当工場は、市北部岩木川河畔の高瀬地区に昭和四十

三年、市誘致企業第一号、北越ヒューム管の第十五番目の工場として立地しました。当社では、人間の能力はやる気と努力、そして本人の意志と誠実さが企業を支える基礎であるとの考えから、社是を誠実、志気、能力とし、創業以来堅実経営を企業理念として、好、不況に左右されず、安定成長を讀んでいます。又、多品種現地生産販売

方式」のもとに、青森県内の五工場(五所川原、青森、弘前、川部、八戸)を含め、東北、関東、信越から北陸各地に三十七工場、二十八営業所を配置して、各地域の人材を登用し、地域との共存共栄を図り、活気ある職場づくりを行い、地域とのニーズに密着した活動をを行っています。



## 社員からのひとこと

成田 欣弥さん (23歳)



市内の道路整備が進み、当社の製品がきれいに並べられているのを見るたび、この仕事をしていて良かったと感じます。U字側溝や縁石から大きな水路まで私達がつくっている製品はたくさんあります。

目立たなくても皆さんの生活に密着しているもの、それがコンクリート二次製品です。私はこの仕事を通して、住み良い環境づくりに貢献しているとの誇りを持って毎日頑張っています。道端でも言わず、黙々と自分の役目を果たしているコンクリート製品、皆さん美しいと思いませんか、それ、私がつくったんですよ。

# 市誘致企業紹介

## —若者は地域に残り地域を



誘致企業第二号

### 森羽紙業株式会社

(立地・昭和四十四年四月)

事業内容 段ボール箱、片面段ボール他製造、販売

年商額 十三億四千二百万円(二十二期)

従業員 四十名(二十二期)

○地域とともに

地域の産業に密着した企業をモットーに創業して二十年、厳しい経済変動を乗り越えて年々業績も向上し、今日に至っております。

○夢のある職場

働くことの楽しさのある生産工場として、最新鋭の

エレクトロニクスを導入したメカトロニクスによるフルオートマチック装置を駆使、生産量の増大を図り、一貫した省力化に努力しております。

○企業の使命感にもえて

流通部門の役を担う企業の使命を充分認識し、常に斬新な包装形態を目指して、時代と地域のニーズにマッチした製品を安定供給するために、総力を結集し努力致しております。

### 社員からのひびく

加納 君 章さん (十九歳)



私は、今の会社に入社して一年五カ月になりますが、はじめは期待と不安が入り混じり複雑な気持ちでした。今では仕事にもなれましたが内容的には重労働だと思えます。でも上

司や先輩達はやさしく接してくれて会社全体が明るく楽しく働いています。最近では、ロボットも導入され、全国的にも知られてきました。これからも、より良い製品を製造し、会社の発展を期待して、頑張りたいと思います。

今回は、津軽東芝音響(株)と日立東部セミコンダクタ(株)津軽工場の予定です。

〔表1〕人件費の状況(普通会計)

区分	住民基本台帳人口(2年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	平成元年度の人件費率
2年度	3,331,317人 50,017人	16,333,150千円	226,273千円	2,700,980千円	16.5%	17.5%

⑨ 人件費には、特別職に支給される給料、報酬が含まれています。

人件費の状況

平成二年度普通会計決算による人件費の状況は「表1」の通りです。また、平成三年度普通会計当初予算による人件費のうち、一般職員の給与費は円グラフのとおりです。

市職員の給与の状況について、その概要をお知らせします。

市職員の給与の状況

職員給与費の状況(普通会計)



職員一人当たり給与費559万7千円

(注)

- 1 職員数には、特別職は含みません。
- 2 給与費及び職員数は、当初予算に計上されたものです。
- 3 その他の手当は、扶養、住居、通勤、管理職、特殊勤務などの手当です。(退職手当は含みません)

職員給与の状況

(給料)

● 職員の代表的な職種である

る一般行政職員の平均年齢及び平均給料月額を、「表2」のとおりです。また、一般行政職の学歴別の初任給及び経験年数別の平均給料月額の状況は、「表3」のとおりです。その初任給は国と同じです。

● 職員の給料は、職務の責任の程度に応じ級ごとに区分されていますが、一般行政職員の級別の職員数の状況は「表4」のとおりです。

〔表3〕一般行政職員の学歴別の初任給及び経験年数別平均給料月額

(平成3年4月1日現在)

区分	初任給	採用2年日額	経験年数		
			10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満
大学卒	143,100円	157,200円	220,917円	281,386円	337,113円
高校卒	117,300円	125,600円	182,778円	228,735円	278,610円

〔表2〕一般行政職員の平均年齢及び平均給料月額

(平成3年4月1日現在)

区分	五所川原市	国
平均年齢	43.7歳	38.9歳
平均給料月額	283,798円	263,949円

〔表4〕一般行政職員の級別職員数の状況

(平成3年4月1日現在)

区分	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	部長	参事	課長	課補長 長佐	課補長 長佐	係長	主任	主事	主事	
職員数	17人	4人	60人	26人	63人	65人	53人	36人	4人	328人
構成比	5.2%	1.2%	18.3%	7.9%	19.2%	19.8%	16.2%	11.0%	1.2%	100%

⑩ 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名である。

(諸手当)

● 期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)は、国と同じで年五・三五ヵ月分となっています。

● 退職者に支給される退職手当は、退職時の給料と勤続年数を基として計算されますが、その支給率は退職の事由により変わります。

● 特殊勤務手当は、危険、不快あるいは勤務時間の変則など、特殊な勤務をした職員に支給されます。

● 時間外勤務手当(超過勤務手当)は、正規の勤務時間外に勤務したときに支給されます。

● 扶養、住居、通勤の各手当は、支給要件に該当した場合に支給されます。国の制度と同じです。以上、諸手当の状況は「表5」のとおりです。

〔表5〕職員手当の状況

区 分	五 所 川 原 市			国		
期 末 手 当	〔2年度支給割合〕			〔2年度支給割合〕		
	6 月 期	期末手当 1.6 月分	勤勉手当 0.6 月分	6 月 期	期末手当 1.6 月分	勤勉手当 0.6 月分
	12 月 期	2.0 月分	0.6 月分	12 月 期	2.0 月分	0.6 月分
	3 月 期	0.55 月分	—	3 月 期	0.55 月分	—
勤 勉 手 当	計	4.15 月分	1.2 月分	計	4.15 月分	1.2 月分
	職制上の段階、職務の 級等による加算措置			職制上の段階、職務の 級等による加算措置		
退 職 手 当	〔支給率〕	自己都合	勲奨・定年	〔支給率〕	自己都合	勲奨・定年
	勤 続 20 年	21.0 月分	28.875 月分	勤 続 20 年	21.0 月分	28.875 月分
	勤 続 25 年	33.75 月分	44.55 月分	勤 続 25 年	33.75 月分	44.55 月分
	勤 続 35 年	47.5 月分	62.7 月分	勤 続 35 年	47.5 月分	62.7 月分
	最高限度額	60.0 月分	62.7 月分	最高限度額	60.0 月分	62.7 月分
	1人当たり 平均支給額	5,768千円	15,439千円			
	その他の加算措置 退職時 特別昇給	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)		その他の加算措置 退職時 特別昇給	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	

① 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。

特殊勤務 手 当 (2年度 普通会計)	区 分		全 職 種	時 間 外 勤 務 手 当 (普通会計)	2 年 度	支 給 総 額	73,985千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合				15.3%	職員1人当たり 支給総年額	
支給対象職員1人当たり平均支給年額			40,879円	元 年 度	支 給 総 額	72,447千円	
手 当 の 種 類 (手当数)			11	職員1人当たり 支給総年額			186千円
代表的な 手当の名称	支給額の多い手当 多くの職員に支給されて いる 手当		社会福祉手当				
			社会福祉手当				

(平成3年4月1日現在)

〔表6〕特別職の報酬等の  
状況

(平成3年4月1日現在)

区 分	給料(報酬) 月額	期 末 手 当	内 容		
			支 給 要 件	手 当 額 (月額)	
市 長	750,000円		次に掲げる者で他に生計の途がなく、主としてその職員の扶養を受けている者。 配偶者、18歳未満の子及び孫、18歳未満の弟妹、60歳以上の父母及び祖父、母、重度心身障害者。	配 偶 者	16,000円
				扶 養 手 当	配 偶 者 有
助 役	625,000円	(支給割合)	配 偶 者 無		10,500円
			住 居 手 当	2 人 目	4,500円
収入役	565,000円	6 月期 1.6 月分 12 月期 2.0 月分		(借家) 住宅を借り受け月額11,000円を超える家賃を支払っている職員。 (住宅) 住宅を所有している職員。	3 人 目 以上
			議 長		370,000円
副 議 長	335,000円	加算措置 有			
			議 員	310,000円	

# 市史編纂だより ③

## 旧家所蔵文書について

近世部会 浅倉 有子

去る七月二十日から二十五日の間、五所川原市史編集委員会では、市内の旧家所蔵の史料の調査と整理を行いました。その時に調査した羽野木沢の阿部育也家文書のうち、いくつかを紹介したいと思います。

### 阿部家 文書の概要

阿部家文書に含まれる近世文書は、①阿部家の経営に関わるもの、②阿部家の家に関する文書、③幕末前後に収集された絵図類、④和漢書籍、などに類別できます。このうち③の絵図類には、各藩の勤番所や台場、また運上所や番屋などが記された幕末の蝦夷地図や、外国船が描かれた明治初年の函館港図など、興味深い絵図類が含まれています。

①には、明治初年に津軽藩で実施された藩士帰農策である「帰田法」に関する史料が多く含まれています。たとえば、「帰田法」の実施によって無償で耕地を得

た藩士が、もとの地主である阿部家へまたその耕地を売却した史料などがみられます。

### 阿部家の由緒

今回ご紹介するのは、阿部家の「由緒書」の一つです。阿部家にはいく種類かの「由緒書」が残されていますが、そのうち最もよく整理されたものの一つで、幕末に書かれた「由緒書」が、以下にご紹介するものです。

先祖阿部三左衛門儀本國越前三國にて、寛永年中兄弟式人御国へ下り、(中略)、私方先祖三左衛門儀、羽野木沢村の当屋敷へ住居つかまつり、天和

の頃より田方百五十六拾人役出作つかまつり候旨伝え承り、別ては曾祖父三左衛門代元文の頃より、親弥五左衛門代天明三卯年まで、年々田方三百人役ずつ畑方とも多く出作つかまつり候由

右のように、阿部家は、越前三國の出身で、寛永年間(一六二四〜四三)に津軽へ移住し、天和年間頃(一六八一〜八三)から田方百五十人役(一人役は約二百坪)を経営していたと記されています。「出作」は、自分の居村以外の村にも耕地を持っていて、そこへ出かけていって耕作すること

右に示したように、天明くらいまでは、奉公人一人に付き国銭五十目位から六十目位の給料を払っていたと記されています。国銭五十目は、金二歩(金四歩で一兩となる)にあたります。しかし、天明三年の大飢饉による農民の死亡や逃散は、阿部家の経営にも少なから

奉公人多く御座候て、孝人五拾目位より六拾目位までの給代にて、右に準じ日雇取りの者も多く召使、(中略)、然るところ同年凶歳にて死絶、他散の者多く、奉公人不足にあり成り、翌辰年十一月叔父三郎右衛門と申す者、秋田まで他散の者呼び越しに差し遣わし候旨

以上、阿部家の「由緒書」を中心に紹介してきましたが、前述のように阿部家には、他にも多くの興味深い史料があります。

また、毘沙門の杉山一郎家には華岡清洲の流れをくむ医学書などが所蔵されています。吹畑の和田健次家には、安政二年(一八五五)に津軽藩が行った「神社微細調社寺由緒書上帳」の控が残されています。飯詰の今柵義家には庄屋を勤めていた時に書き留めた「御用留」があり、鶴ヶ岡の開米一家には先祖の履歴を記した「由緒書」が保存されています。これらの興味深い史料については、また次の機会でご紹介してゆきたいと思ひます。

### 貴重な史料 続々と

ぬ影響を与えました。天明四年(一七八四)になると、阿部家の親族三郎右衛門が、秋田へ奉公人の募集にでかけています。また、奉公人の不足は、給金の高騰をもたらしました。

### 津軽藩との関わり

一方、阿部家は津軽藩政とも深い関わりをもっていました。たとえば八代当主弥五右衛門は、天明七年(一七八七)に大庄屋に任じられています。その子弥八郎は、文化十年(一八一三)に不作のため「繰出来」を命じられたのをはじめ、同十三年(一八一六)に代官の手代に任じられています。その後文政十年(一八二七)に至り、「御練合御用取扱」役という藩財政に関わる役職に任じられ、「勘定小頭格」の格式を認められています。

また、毘沙門の杉山一郎家には華岡清洲の流れをくむ医学書などが所蔵されています。吹畑の和田健次家には、安政二年(一八五五)に津軽藩が行った「神社微細調社寺由緒書上帳」の控が残されています。飯詰の今柵義家には庄屋を勤めていた時に書き留めた「御用留」があり、鶴ヶ岡の開米一家には先祖の履歴を記した「由緒書」が保存されています。これらの興味深い史料については、また次の機会でご紹介してゆきたいと思ひます。

# 四十四組が合同金婚式



お礼のことはを述べる川浪ご夫妻

市では十月九日、市中央公民館で結婚五十年を迎えた四十四組の夫婦の皆さんを祝福する合同金婚式を開きました。

式には四十四組のうち四十二組の夫婦が出席し、佐々木市長が式辞を述べた後、各夫婦に表彰状と記念品を手渡しました。

来賓祝辞に続き、川浪重次郎さん・きやさん夫妻、鶴

ヶ岡)が「この表彰を契機として、地域の発展に貢献していきたい」とお礼を述べました。

また、唐笠柳の春藤浅七さん・せつさん夫妻が「結婚五十年のあゆみ」と題して、これまで歩んできた人生を語り、出席者に深い感銘を与えました。

この後、出席した人達は昼食をとりながら楽しいひと時を過ごしました。

表彰されたご夫婦は次のとおりです。(敬称略)

- 一戸勇・マキ(鳥森)、伊藤正彦・忍子(下平井町)、瓜田榮藏・キセ(中平井町)、工藤正榮・きよ、水上榮三・キエ(以上栄町)、中谷正治・ミキ(若葉)、長尾光雄・チヨ、藤田操・たけみ、平山日出夫・ミヨエ(以上元町)、藤田辰造・ちる(松島町)、宮川健三郎・とみ(新宮町)、成田善作・トセ(広田)、三橋勘四郎・つな(湊)、山田武雄・ツヨ(稲実)、小山西

豊吉・ムラ(中泉)、鈴木太左衛門・たけ、前田秀雄・ツサ(以上梅田)、阿部三之丞・きさ、三上清十郎・ツカ(以上原)、阿部謙五郎・ミツ、阿部正一・サツ(以上羽野木沢)、須藤久造・うめ(高野)、秋田由一・かし(浅井)、秋田寅太郎・あぐり、工藤磯次・ヤサ(以上俵元)、太田秀男・ミエ、片岡喜代志・みよ(以上松野木)、工藤米吉・たよ(米田)、春藤浅七・せつ(唐笠柳)、高橋彦作・スヨ(漆川)、竹谷彌次郎・ツヨ、吉村正・リチ(以上太刀打)、佐藤藤夫・トシ、柳原興四郎・満江(以上飯詰)、太田良雄・ヘナイ、北川光男・キヨ、山口竹四郎・みさを(以上毘沙門)、青山繁雄・とみ江、一戸健太郎・ツセ、工藤榮・愛子(以上藻川)、小笠原久雄・せつ、川浪重次郎・きや(以上鶴ヶ岡)、岡田伊二郎・キヨミ(沖飯詰)

## 短歌

五所川原短歌会

産休の母の手を引く女の子うれしさあふれる笑顔を見せ  
大久保堪三

三人の男の子ありしが農つがず老いたる兄の今に耕す  
佐藤 義則

庭の木に大きく張って残る巢に朝露と蜘蛛静寂に織る  
小笠原俊亮

予期せざる雷ひびき馬の仔は体びくりとふるはし  
山上 和美

ミシン踏む妻は孫のワンピースとき折りかざして  
関 喜代栄

## 交通安全は家庭から

### 交通事故概況

(平成3年10月20日現在)

五所川原市交通安全対策協議会

	県内	五所川原市管内
発生	6,053 (-18)	212 (-34)
死者	100 (-7)	2 (-5)
傷者	7,411 (-64)	252 (-52)

( ) 内は前年対比。

シートベルト しめる心が 身を守る

# 私の風景

——ここが好きです

⑪

珍田 広子さん  
(市内松島町一丁目七五)

## 「朝の中で」

二年前、私の体重は、五十キロでした。それが、最近では、五十五キロです。

どうしようかと考え、とにかく走ることを決心しました。



最初は、あちこちの新しい家を眺めながら走っていましたが、みつかりました私の「景色」。右側の屋根は殆んどブルーなのに、一軒だけ、黄色の家があり、このコントラストが好きになってしまいました。更に右側は、林になっていて、その向うには、田んぼが広がって、ここへ来ると、ほっとして心が休まります。

朝の五時から六時。思いきり両手を広げ深呼吸をすると、本当に空気がうまいのです。走ることの始めの目標は減量だったのに、今では体重のことよりも、この素晴らしい景色の中で、いろんな人達にめぐり会えることの方がとても楽しくなってきました。

## 読書週間

10月27日(日)~11月9日(土)

読書の秋です……

今一度!  
太宰治を!!



市立図書館では、期間中、太宰治関係の図書を展示いたします。

太宰治は、隣接する金木町の出身であり、五所川原にとっては、もっとも親しみのある作家ではないでしょうか。

貸出用の本も用意いたします。

昔、一度は手にした本、読みたいと思いながらも、そのまゝになってしまった本などあることと思います。

この機会に、今一度、あなたも郷土作家、太宰治の作品にふれてみませんか。

## 市民のみなさん

= 犯罪捜査にご協力をお願いします =

- 指名手配人の  
検挙にご協力を!
- 犯罪捜査について  
知っていることは  
積極的に通報を!
- 聞き込み捜査にご協力を!
- 被害に遭ったときは  
必ず届出を!
- 「事件かな?」と思ったら  
110番通報を!

## 平成3年度北方領土返還要求

### 青森県民大会

日本固有の領土である、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島の、一括返還のため、行政と民間が一体となり、県民の世論を結集し、早期返還の実現を旨とするものです。

- ▷日時 平成3年11月18日(月) 午後1時
- ▷場所 五所川原市中央公民館
- ▷参加者 一般市民
- ▷内容 ○北方領土返還6千万人署名運動  
○記念講演(講師 澤 英武) ○パネル展示  
○VTR映写会
- ▷主催 青森県北方領土返還促進協議会

### 消費・生活

## 特別災害(台風19号)による 県税及び市民税の減免措置

この度の、台風19号により、多大の被害を受けた方々に対し、謹んでお見舞申しあげます。

- ▷**県税** 個人事業税、不動産取得税、自動車税(被害の状況に応じて減免することもありますので、最寄りの県税事務所へご相談下さい)

#### 〈りんご農家のみなさまへ〉

- ▷**市民税** りんご落果等被害の程度により、減免することもあります。

状況把握のため、下記により調査しますので必要書類をご持参のうえ、各会場へおい下さい。

- 梅沢地区 11月11日(月) 梅沢コミュニティセンター
- 七和地区 11月12日(火) 七和コミュニティセンター
- 長橋地区 11月13日(水) 長橋コミュニティセンター
- 上記以外の地区 11月14日(木)・15日(金) 市役所税務課

◎時間は、午前9時～午後3時まで

- ◎ご持参するもの ①印鑑 ②販売精算の終了したもの(仕切書等) ③委託販売で精算未了のもの(農協等の出荷証明書) ④その他(在庫、贈答品、家事消費分の数量〔箱〕)

- ▷問い合わせ 財政部税務課市民税係(内線274)

## 災害復興住宅資金

### 融資の受付

住宅金融公庫では、このたびの台風19号によって、住宅に被害を受けた方(10万円以上の被害)に対し、「災害復興住宅資金」の融資の申し込みを受けています。

- ▷**受付期間** 平成3年10月4日より平成5年9月28日まで
- ▷**金利** 年5.3%
- ▷**融資限度額** 建設資金880万円  
補修資金490万円
- ▷**返済期間** ●建設資金25年(3年以内の元金据置可) ●補修資金20年(1年以内の元金据置可)
- ▷**申し込み** 住宅金融公庫業務取扱店と表示のある金融機関
- ▷**問い合わせ** 住宅金融公庫東北支店(☎022-227-9311)又は業務取扱金融機関

### 貸金業者の貸付け上限金利の引き下げ

平成3年11月1日より

出資法では、現在貸付けの上限金利は年54.75%(1日当り、0.15%)となっておりますが、出資法の本則金利移行日を定める法律により、11月1日からの貸付け分については、年40.004%(1日当り0.1096%)に引き下げられます。

- ▷**問い合わせ** 県商工課商工金融班(☎0177-22-1111 内線4162)

## 台風19号による被災農家の皆様へ

緊急の被災対策として、りんごの防除や苗木の改植事業、加工りんご対策、緊急融資等を実施することになりました。詳しくは、農協、農林課にご相談ください。農林課(内線217番)

### LPガス使用のみなさん!!

事故防止のため、安全器具を取り付けましょう。  
○**ガス漏れ警報器** 素早く感知してガス漏れを知らせます。

- ハイセーフ** 常時、ガスの使用状態を監視し異常があった時、ガスを自動的に遮断する、極めて秀れた安全器具です。
- ヒューズコック** ゴム管が抜けたり、切れたして大量のガスが漏れた時、ヒューズコックが作動し、自動的にガスを遮断します。

- ▷**問い合わせ** 青森県商工労働部鉱政保安課(☎0177-22-1111 内線4189)

## 第1回“看学祭”開催

五所川原市立高等看護学院

“Healthy of life” (健康の向上)をメインテーマとして、第1回看護学院祭を開催します。

- ▷日時と内容 平成3年11月15日(金)
- 9時～14時 看護研究発表会
- 14時～17時 健康チェック・医療関係器具等展示・家庭で出来る看護の実際(実演)
- 11月16日(土)
- 10時～12時 各学年の催物・健康チェックの展示・家庭で出来る看護の実際(実演)
- 13時～15時 カラオケ大会(賞品は盛沢山、市民の皆様、大歓迎です)

▷開催場所と問い合わせ 五所川原市立高等看護学院 (☎34-2715)

## 「こぎん刺し」 技術講習会



津軽の民芸「こぎん」の刺しかたを習得し就業に役立てたい婦人を対象とした講習です。

- ▷内容 基礎刺しから応用まで
- ▷日時 11月13日(水)～11月14日(木)  
(午前9時30分～12時30分)
- ▷受講料 無料(教材費1,000円)
- ▷場所 五所川原市働く婦人の家
- ▷用意するもの 筆記用具(赤えんぴつを含む)、糸切りばさみ、ものさし、しつけ糸
- ▷申し込み・問い合わせ 青森県婦人就業援助センター五所川原駐在所 佐々木相談員  
(五所川原市働く婦人の家内 ☎35-8898)

## 全国青少年健全育成強調月間

～ふれあう時間をつくろう～

### ■運動期間

平成3年11月1日～11月30日

#### ※重点目標

- ①青少年の社会参加活動の推進
- ②健全な家庭生活の普及促進
- ③職場における青少年育成活動の促進
- ④地域における青少年育成活動の促進

五所川原地区  
青少年健全育成推進員協議会

## 食生活改善推進員養成講座 の受講生募集

健康づくりの基本は食です。食をとおして地域の健康づくりのお世話をさせていただく食生活改善推進員を養成する講座です。正しい食生活について学習をしてみませんか。

- ▷対象者 市内に居住する婦人で、ボランティア活動に熱意のある方。
- ▷内容 5回コースで食生活を中心に健康づくりに役立つ知識と技術を学習します
- ▷日時

回	1	2	3	4	5
月日	11月28日 (木)	12月2日 (月)	12月5日 (木)	12月9日 (月)	12月17日 (火)

午前10時～午後3時

- ▷場所 市働く婦人の家
- ▷募集人員 50名
- ▷受講料 無料
- ▷申し込み先とメ切 市保健環境課(内線268・272)11月11日まで

※尚、申し込まれた方には後日、詳細をお知らせします。又、全日程を受講した方には修了証書を差しあげます。

## 夢、育む「緑のオーナー」募集 (一口50万円)

- 国有林の若い森林を対象に、伐採するまでの20年～30年間、あなたと国が、共同で育てるものです。
- 森林は、国が責任をもって、手入れや管理を行います。
- 将来、樹木を販売した収益は、持ち分に応じた配分となります。
- ▷募集箇所 五所川原市飯詰山国有林133ろ4林小班内
- ▷面積 7.34ha
- ▷樹種林令 スギほか31年
- ▷契約期間 25年間
- ▷募集口数 16口
- ▷募集期間 平成4年2月29日まで
- ▷申し込み・問い合わせ 金木営林署総務課  
(☎0173-53-3115)

11月9日は  
『119の日』  
火事と救急は119番へ



**福 祉**

**平成4年度母子・寡婦福祉資金  
(修学資金等) 予約貸付の受付**

▶**対象者** 経済的に困難な事情にある母子・寡婦家庭で、児童が高等学校、短期大学、大学、高等専門学校に進学もしくは入所を希望するもの。

▶**提出書類**

- ①貸付申請書 (福祉事務所にあります)
- ②添付書類
  - (ア)貸付申請者の戸籍謄本
  - (イ)配偶者のない女子で現に児童を扶養していることを証明する書類
  - (ウ)進学証明 在学している学校からの進学証明書
  - (エ)支度資金所要額内訳書 (以上(イ)(ウ)(エ)の用紙は福祉事務所にあります)

▶**提出期限** 11月26日(火)

▶**貸付けの仮決定** 平成4年1月末日までに仮決定し、本人に通知する予定。

▶**貸付けの本決定と資金の交付**

①修学資金・修業資金

仮決定された人の児童が高等学校等に入学し、在学証明書の提出がなされたものに対し、4年4月中に本決定し同月末日までに資金交付の予定。

②就学支度資金

仮決定された人で、高等学校等の選考試験に合格し、その合格通知書等により入学が確実になったものについて、4年3月中に本決定し同年4月末日までに資金交付の予定。

▶**問い合わせ・書類の提出** 市福祉事務所児童係 (☎35-2111 内線243)

**母子家庭等の医療給付の  
制度が改正**

今までは、義務教育終了前(中学校卒業、満15歳まで)の児童のみを医療給付の対象としていましたが、平成3年10月1日より、児童の年齢を満18歳まで引き上げるようになりました。

又、これまで、対象外だった母親にも給付対象とする拡大がなされました。

▶詳しいことは 市福祉事務所児童係(内線243)

**平成4年度(4月入所)  
保育所入所申請受付**

▶**受付期間** 11月13日から12月7日まで

▶**受付場所** 市福祉事務所・各保育所

※ 保育所によっては、乳児(0歳児)、障害児(軽度・中度)も入所できます。

※ 現在、数か所の保育所で定員に余裕がありますので、今年度中からでも入所できます。

▶**問い合わせ** 市福祉事務所児童係 (☎内線372)

**催し・講座**

**文化講演会**

▶**演題** 自分らしく生きる  
「一秒の重さ」

▶**講師** 石川牧子氏(日本テレビアナウンサー)

▶**日時** 11月11日(月) 午後6時30分

▶**場所** 五所川原市民文化会館

▶**主催** 五所川原自治振興公社  
五所川原市職員互助会



講師  
プロフィール

- 昭和24年11月山形県鶴岡市生まれ
- 「ドキュメント70」のインタビュアー、「子供ショー」「日本民謡大賞」「たのしい園芸」「歯の時間です」の司会、「ジャストニュース」のキャスター「酒井広のうわさスタジオ」の司会アシスタント、「ウルトラクイズ」の司会アシスタントを担当し日本テレビの顔としての存在価値を高めつつある。



**北方の  
領土かえる日  
平和の日**

**ほけんだより** 市役所 35-2111この欄の問い合わせ  
保健環境課 (内線268・272)**11月の栄養教室**

実りの秋です。収穫に感謝し、健康づくりのため参加してみませんか。

▷テーマ：栄養の知識を学び、習慣病といわれる成人病を防ごう！

開催月日	対象地区	開催場所	締め切り日
11月11日 (月)	栄 みどり町	コミュニティセンター栄	11月6日 (水)
11月20日 (水)	三好	コミュニティセンター三好	11月13日 (水)
11月28日 (木)	松島	保健センター	11月20日 (水)
11月29日 (金)	高野	高野文化センター	11月20日 (水)

▷時間：午前9時30分～午後1時

▷料金：無料

▷持参するもの：エプロン、筆記用具、ごはん、みそ汁（小びんなどに入れて）、健康手帳、食事しらべ用紙（地区の保健協力員からもらってください）

▷申し込み先：地区の保健協力員（参加申し込み用紙があります）

**粗大ゴミの収集を  
次のように実施します**

月日	収集区域	申告締切
11月13日	旧町内、湊、湊団地	11月8日
11月15日	若葉、松島町(吹畑含む)、みどり町	11月12日
11月20日	七和、梅沢、長橋、栄、松島	11月15日
11月27日	飯詰、毘沙門、三好、中川(桃崎)、長富	11月22日

▷出してもよい物 洗濯機、冷蔵庫、テレビ、ベット、ダンス、イス、テーブル、タタミ、ジュータン、机、空ドラム缶、自転車、石油ストーブ、スノーダンプ

▷出せない物 リヤカー、農機具、バイク、ホームタンク、古タイヤ

▷申告は☎2111番内線269番（保健環境課）

▷粗大ゴミには名札をつけてください（ない物については、収集いたしません）。

▷各家庭からの粗大ゴミは3個までとします。朝8時まで出してください。

**もうお済みですか？  
犬の登録・狂犬病予防注射！**

市では、今年度最後の犬の集合登録ならびに狂犬病予防注射を実施します。ご都合等によりまだお済みでない方は次の要領で受けてください。

▷日時 11月11、12日(月、火)午前9時30分から  
午後3時まで

▷場所 五所川原保健所前（市内末広町）

▷料金 登録料 2,100円 } (いずれも毎年1回)  
注射料 2,780円  
合計 4,880円※登録しなかったり、注射を受けなかったりしますと、狂犬病予防法違反で罰則の対象となりますので、必ず受けるようにしてください。  
※放し飼いは事故のもとです。他人に迷惑をかけますから絶対にしないでください。**みんなの健康教室**

▷日時

1 11月22日(金)午後1時

▷場所

市保健センター

▷講師

兼平 亘（兼平内科小児科医院長）

▷テーマ

よくみられる心臓病

▷主催

北五医師会・市保健協議会

**“子宮がん・乳がん・甲状腺検診”  
のお知らせ**

実施日	対象地区
11月1日	七和地区
11月6日	長橋地区
11月7日	松島地区
11月8日	松島町・梅沢地区
11月13日	梅沢地区・松島地区
11月14日	飯詰地区
11月15日	中川・小曲地区

※この検診は、すでに受診申し込みをされた方のみが対象となっていますのでご注意ください。

# ごしがらみ

## 特集

市税完納者  
名簿

### 平成三年度市税完納表彰式

### 表彰者は二百四十三人

「ご協力ありがとうございました」

納税意欲の高揚と収納率の一層の向上を図るため、平成三年度市税完納表彰式が去る十月十八日中央公民館で行われました。式典には関係者およそ三五〇名が出席。市長が「市税の納期内納付を通じ、市政に多大なご支援とご協力をいただいております。市政に多大なご支援とご協力をいただいたに続き、市長から連続納期内完納者に対し、表彰状を贈られました。」

その後、武田伸二税務署長、藤本暁太郎県税事務所長、木村清孝市納貯連会長が祝辞。受賞者を代表し、福土孝一氏（市内岩木町在住）が「思いもよらぬ榮譽に浴し心から感謝しております。今回の受賞を励みに一層納期内完納に努めます」と謝辞を述べました。

また、式典終了後、教育委員会指導課勤務の英語指導助手シャロン・ケリー・マッカーシーさんが「五所川原の印象」というテーマで講演を行い、出席者は興味深く聞いておりました。

なお、今回は平成二年度まで三十年間連続納期内完納者一十八名、二十五年間連続納期内完納者一十二名、二十年間連続納期内完納者一三名の合わせて三四三名を表彰該当者として表彰させていただきました。受賞者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます、その方々のお名前を紙上をもってお知らせいたします。

今後とも市民各位の市税に対する深いご理解とご協力をお願い申し上げます。



シャロン・ケリー・マッカーシー

さんの講演



表彰状の授与を受ける受賞者

### 完納表彰者

30年

五所川原地区

◎田町 葛西 はつ、木村 貞俊

◎鎌谷町 成田 直弥  
片岡 久雄、工藤幸一郎  
◎一ツ谷 松橋 義治、小野 柁雄  
◎新町 北川 清榮、木村 雪江

平山 栄造  
◎柳町 鶴谷廉之助

◎岩木町 福士 孝一

◎布屋町 金川 やゑ

◎弥生町 小野 猛、佐藤 昌世

高松喜三郎、藤田仁三郎

◎上平井町 佐々木定十郎、嶋口慶治

◎中平井町 荒谷 修一、工藤 光子

和田 護郎

◎幾世森 鶴谷 良吉

◎柏原町 高松 三雄、吉崎武太郎

◎錦町 新谷 信雄

◎小曲 沢田 富広、柴谷 茂男

敦賀 光雄、敦賀 美則

◎松島町 成田 善三郎

阿部 二郎、佐々木啓二

◎若葉 古川 治啓

栄地区

◎湊 平山 勝三、平山友次郎

◎みどり町 小栗山才二郎、木村一夫

高橋キミ子

梅沢地区

◎梅田 鈴木 治

七和地区

◎原 子 齊藤 りち

◎高野 富士由五郎、堀内 信夫

長橋地区

◎福山 長尾彦次郎

◎野里 石岡 惣一、土岐 義雄

◎神山 小山内勝男、須藤 善一

◎松野木 土岐恒太郎、長尾徹之輔

◎松野木 松野 清重

松島地区

◎金山 高橋 清衛

◎唐笠柳 小山内興之助、寺田岩勝

◎石岡 寺田 一男

二戸 正雄、寺田 昭治

◎漆川 木村トキエ

◎太刀打 小野 正美

◎一野坪 小野 正春

飯詰地区

◎飯詰 岩田 文雄、小野 甚七

◎高橋 勝義、田中 昌邦

◎中谷 賢造、成田 タケ

◎奈良 洋一、増田 すす

◎松野 ツル、三橋 四郎

◎三浦 賢三郎、三浦 弘一

◎三浦 秀行、三浦 文義

◎三浦 幸男、三浦 万助

◎三浦 みや、三浦 勇市

◎下岩崎 坂本日出治

◎毘沙門 太田 省三、太田 春悦

◎佐藤 豊三郎、杉山 一郎

◎杉山 治、長峰 重雄

◎福間 たま、山口 武美

◎山口 実、山口 由光

◎山口 龍之進

◎長富 山口 龍之進

小野 正雄、原田 義二

◎松川 良雄

◎三好地区 三好 川

◎藻川 青山 金作、川浪 長三

◎高橋 竹松、竹谷 清治

◎田川 奈良 松男

◎種井 古川 鉄男、高橋 栄

◎川山 秋田 実、館山 宇作

◎藤森 繁夫、藤森繁太郎

◎藤森 時弘

◎沖飯詰 秋田吉太郎、石谷 一昭

◎石谷 一元、石谷 武男

◎石谷 正志、田口 善喜

◎桜田 笠井 勝義

◎五所川原地区 五所川原 誠三、木村 政良

◎対馬 由子、飛嶋 鉄男

◎成田 誠一、平山新吉郎

◎三湯金三郎

◎田町 相川 恒徳、加納 金作

長沢 武治、原 志郎

◎不魚住 山川 フサ、山谷 清三

◎元町 下山 千工

◎柳町 長尾 光雄

◎岩木町 木村 俊夫、間賀田英美

◎葛西 唯六、葛西 呷

◎川端町 齊藤 豊造

◎数島町 嵯峨幸三郎

◎葛西 穂

◎中平井町 帯川 勝己、森山 貢

◎柏原町 佐々木規知、藤本 キミ

◎錦町 小田桐 武、竹谷 弘一

◎幾島町 平山 清、三上 繁

◎末広町 小山内儀一、高橋 直義

◎奈良 俊男、松本秀四郎

◎新宮町 山中 満

◎松島町 小山内清文

◎小野 要一、開米 久雄

神 博昭

梅沢地区

◎梅田 前田 一

七和地区

◎原 子 阿部三之丞、雨森 英二

◎羽野木沢 阿部 稔

◎持子沢 小笠原豊秋

◎前田野目 齊藤 修 齊藤 栄造

◎齊藤 正夫

長橋地区

◎戸沢 工藤 光弘

飯詰地区

◎飯詰 今 征義、坂本 直樹

須藤 忠光、其田 隆三

◎田中 俊雄、對馬 卓美

◎長峰末三郎、長峰 政直

◎中谷 和子、鳴海 清克

◎前田勘一郎、松下 茂

◎三浦 義衛、柳原 正市

◎山口 俊治

◎下岩崎 坂本 明人、坂本 儀助

25年

20年

其田武智雄

毘沙門・長富地区

◎毘沙門

北川 忠雄、沢田 勝頼  
杉山 秋広、杉山 義彦  
田中 茂、田村 ミヤ  
山口栄太郎、山口 吉弥  
山口 俊雄、山口 昇  
山口 真廣

◎長富

齊藤 忠則、高橋 正市  
藤森キンコ、増田清三郎  
増田 忠英

三好地区

◎藻川

一戸 正道、川浪 孝一  
川浪 シデ、川浪 興作  
佐藤彦三郎、乗田 金清  
◎鶴ヶ岡  
川浪 昇夫、沢田 京子

◎高瀬

木村喜右エ門  
長尾 源次郎

中川地区

◎田川

山形 松年

◎種井

鳴瀬啓之進

◎長橋

館山 富作

◎川山

館山 節次、藤森長治郎  
吉岡 一

◎沖飯詰

秋田 兼吉、秋田 政吉  
岩崎 慶作、小野長之助  
筈井 武美、筈井 要一  
古川一二三、藤森 茂治  
◎桜田  
岡田 伊蔵、筈井茂次郎  
筈井 ツサ、筈井 強  
筈井 一、上見金右衛門

五所川原地区

◎栄町

坂本 直巳

◎田町

伊藤 徳一、高松勇太郎  
鶴谷惣一郎、藤田 つさ

◎運沼

三上 民雄

◎元町

成田 力

◎下り枝

葛西 義明

◎八重菊

本荘 実

◎一ッ谷

小野豊四郎、今 将式  
成田 勇藏

◎岩木町

田中 文雄

◎川端町

岩谷新一郎、山形 平作

◎本町

葛西 タケ、佐藤 トシ

◎弥生町

齋藤 春雄、山本 淳

◎東町

葛西 正藏、小山 末治

◎旭町

磯野徳三郎

◎雑田

館山鉄三郎、田村サツキ  
寺山 きみ、天坂 忠藏

◎上平井町

三上 昭夫、三上 清藏

◎中平井町

齊藤 政子、中村 ヌイ

◎江良善太郎

川村 正一

◎千葉達也

三浦 広志

◎下平井町

齊藤卯一郎、米塚 勉

◎寺町

井沼ふみ、小山内久仁雄

◎成田栄一

成田 栄一

◎柏原町

奈良 長

◎錦町

木村 正雄、山田 文内  
小山 きみ

◎小曲

金沢 定逸、三橋 政子  
荒谷 義勝、兼岡 正悟

◎小栗山

小栗山三四郎、小栗山勇  
小栗山 実、高橋 武司

◎白戸

白戸正太郎、敦賀 清造

◎松島町

今 行成、佐藤 徹男  
沢田 繁喜、鈴木 新正

◎成田

成田 久雄、信太 ぶさ  
花田 靖美、福井 清三

◎三橋

三橋 義雄

◎栄地区

◎広田  
安田 克己

◎みどり町

山田 晴雄

◎七和地区

◎持子沢  
阿部 イ子

◎高野

楠美 光雄

◎長橋地区

◎野里  
秋元 ツセ、石岡 稔  
長尾 ヌエ

◎神山

葛西 邦夫、松野 賢一

◎松野木

片岡 正一、成田 光雄

横嶋 キナ

◎戸沢  
間山トミエ

◎金山  
小野 司、高橋武智雄

◎高橋  
高橋 光夫

◎水野尾  
小田桐平作

◎唐笠柳  
赤木 松雄

◎石岡  
寺田喜代志、寺田 利雄

◎漆川  
伊藤 航一、小田桐久雄

◎太刀打  
伊藤 角弘、葛西 九郎

◎高木十五子  
高杉長左エ門、高杉光義

◎一野坪  
伊藤清三郎、小野 友造

◎飯詰地区

◎飯詰  
阿部 粕雄、太田 利通

◎竹林  
竹林 誠、中谷 庄平

◎浜館けい  
其田 才一

◎下岩崎

◎松野木

成田 重造

三好地区

◎藻川

木村 欽一、高橋三九郎  
野呂 西松

◎鶴ヶ岡

岡部 隆一、沢田 一郎  
沢田 たけ、清野徹三郎

◎高瀬

田中 義悦

◎中川地区

◎田川  
奈良 常雄、山形 隆雄

◎川山

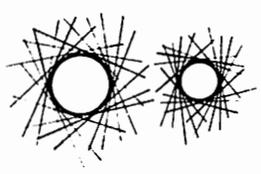
川瀬 ナミ、奈良岡俊則  
藤森 昭弘

◎沖飯詰

藤森ミチエ

◎藤森

藤森ミチエ



(敬称略)

※納期内に納められなかった方は、すみやかに納めてくださるようお願いいたします。

国民健康保険税						軽自動車税	都市計画税			固定資産税	市・県民税				税目
第6期	第5期	第4期	第3期	第2期	第1期	全期	第4期	第3期	第2期	第1期	第4期	第3期	第2期	第1期	期別
12月1日～12月28日	11月1日～11月30日	10月1日～10月31日	9月1日～9月30日	8月1日～8月31日	7月1日～7月31日	5月1日～5月31日	11月1日～11月30日	9月1日～9月30日	7月1日～7月31日	5月1日～5月31日	12月1日～12月28日	10月1日～10月31日	8月1日～8月31日	6月1日～6月30日	納期

市税の納期は次のとおりです。納め忘れがないかお手元の納付書を確認し、期限内に納めましょう。

**納め忘れありませんか!!**

## 保険税 納めて安心 わが家の健康

納付率が悪いとどう影響するか

保険税を納めない人がいると、保険税を納めている人の負担ばかりが重くなってしまい、保険制度が成り立たなくなります。簡単な例でご説明しましょう。

- いま仮に、10万円の費用を10人で分担して支払うことにします●



1人当たりの費用は1万円です。ところが、10人のうち、1人だけ費用を支払わない人がいるとしましょう。つぎのようになります。



このように費用を支払う9人の1人当たりの負担額は1万1千円となり、まったく払わない人が1人いるため、不公平となります。

さらに1人、2人と費用を支払わない人が出てくると、ますます不公平さが拡大し、だれもが費用を支払うのがいやになります。そして、やがてお医者さんにかかったとき、医療費の全額を、自分で支払わなければならないになってしまいます。

このようなことにならないためにも、保険税は納期内に納めましょう。